

## 平成17年度第1回宇都宮市保健衛生審議会 議事録

1. 日時 平成17年11月24日（木）午後1時30分～3時
2. 場所 保健所 3階 大会議室
3. 出席者
  - 【委員】高橋委員，小林委員，山本委員，五味渕委員，糸委員，中澤委員，大牧委員，田嶋委員，瀬尾委員，添田委員，今井(キ)委員，小川委員，井沢委員（13名）
  - 【事務局】〔保健福祉部〕加藤部長，中村部次長（保健衛生担当），荻田主幹
  - 〔保健所総務課〕長門課長（保健所長補佐），小林課長補佐，ほか事務局職員
  - 〔健康増進課〕土屋課長，松岡課長補佐，兼原係長，村上係長，ほか担当職員
  - 〔保健予防課〕石川課長，広野補佐，小林係長
  - 〔教育委員会事務局〕大野教育次長（学校担当），半田学校教育課長
4. その他
  - 【傍聴者】 なし

次 第	発 言 者	発 言 内 容
1 開 会	保健所総務課 課長補佐	<p>お待たせしました。</p> <p>委員のみなさまには，大変お忙しい中お集まりいただきまして，ありがとうございます。</p> <p>定刻でございますので，ただいまから「平成17年度第1回宇都宮市保健衛生審議会」を開会いたします。</p>
2 委員紹介	保健所総務課 課長補佐	<p>早速，会議次第2の委員紹介に移りたいと思います。</p> <p>それでは，次第の裏面でございます名簿の順に委員の皆様方をご紹介させていただきます。</p> <p>まず，第1号委員市議会議員といたしまして，高橋森一委員です。小林秀明委員です。山本直由委員です。</p> <p>次に，第2号委員学識経験者といたしまして，埼玉県立大学学長の，柳川洋委員です。</p> <p>自治医科大学教授の，中村好一委員ですが，お二方とも本日は欠席でございます。</p> <p>次に，第3号委員各種団体の代表といたしまして，宇都宮市医師会から，五味渕秀幸委員です。</p> <p>宇都宮市歯科医師会から小林豊委員ですが，本日欠席でございます。</p> <p>宇都宮市薬剤師会から，土川康之委員ですが，本日欠席でございます。</p> <p>栃木県看護協会から，鯉淵タツノ委員ですが，本日欠席でございます。</p>

<p>3 会長・副会長選出</p>	<p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>栃木県栄養士会宇都宮支部から、桑まり子委員ですが遅れるということでございます。</p> <p>栃木県済生会宇都宮病院から、中澤堅次委員です。</p> <p>栃木県獣医師会栃中支部から、大牧辰男委員です。</p> <p>栃木県食品衛生協会宇都宮支部から、田嶋光男委員です。</p> <p>栃木県生活衛生同業組合協議会宇都宮支部から、設楽栄治委員ですが、本日欠席でございます。</p> <p>宇都宮市自治会連合会から、今井源一委員ですが、本日欠席でございます。</p> <p>宇都宮市民生委員児童委員協議会から、瀬尾充男委員です。</p> <p>宇都宮市女性団体連絡協議会から、添田包子委員です。</p> <p>宇都宮市商工会議所女性部から、今井キヨ委員です。</p> <p>宇都宮市小学校長会から、深澤伸久委員ですが、本日欠席でございます。</p> <p>宇都宮市食生活改善推進団体連絡協議会から、小川擁子委員です。</p> <p>次に、第4号委員の公募委員でございますが、井沢知子委員です。</p> <p>中村敏久委員ですが、本日欠席でございます。</p> <p>以上、22名の委員構成でございます。</p> <p>続きまして、本日出席しております市の職員を紹介いたします。</p> <p>加藤保健福祉部長です。</p> <p>中村保健福祉部次長保健所長兼務です。</p> <p>荻田保健福祉部総務担当主幹です。</p> <p>長門保健所長補佐兼総務課長です。</p> <p>来栖保健所保健医療監です。</p> <p>土屋健康増進課長です。</p> <p>石川保健予防課長です。</p> <p>教育委員会から 大野教育次長です。</p> <p>半田学校教育課長です。</p> <p>次に、会議次第の3正副会長の選出ですが、昨年度の審議会の後、各種団体等におきまして役員の変更がございました。改めて委員を推薦いただくなど、審議会メンバーに変更が生じてございます。</p> <p>このため、現在、会長及び副会長が不在になってございます。当審議会規則第2条第4項の規定により、委員の互選によって、会長及び副会長を定めることになっておりますが、会長及び副会長の選出について、いかがいたしましょうか。</p>
-------------------	------------------------	--

瀬尾委員		<p>審議会の会長には、これまで、市医師会の委員の方に務めていただきました。この審議会の性格上、医師会の代表の方がふさわしいと思いますので、医師会推薦の委員である五味渕秀幸委員にお願いしてはどうかと思います。また、副会長には、保健衛生分野のみならず、いろいろな分野で活躍されているということで、前回も市議会議員の方をお願いしたことから、今回も同様に市議会議員の方をお願いするというので、市議会議員の高橋委員にお願いしてはいかがかと思います。</p>
保健所総務課 課長補佐		<p>ただいま、会長には五味渕委員、副会長には高橋森一委員との声がございましたが、いかがでしょうか。</p> <p>－委員から「賛成」、「異議無し」の声あり－</p>
保健所総務課 課長補佐		<p>皆様異議がないということでございますので、それでは、五味渕秀幸委員に会長、高橋森一委員に副会長をお願いしたいと存じます。</p> <p>恐れ入りますが、会長の五味渕委員、副会長の高橋委員には前の会長席、副会長席にお移りくださるようお願いいたします。</p> <p>－会長・副会長 移動－</p>
保健所総務課 課長補佐		<p>それではここで、会長・副会長2名を代表いたしまして、五味渕会長にごあいさつをいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。</p>
会 長		<p>ただいま皆様のご賛同を得まして会長の職に就任いたしました五味渕でございます。</p> <p>議事に移ります前に、一言あいさつさせていただきます。</p> <p>本日は、委員の皆様にはお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>さて、少子高齢化が進行し、本格的な人口減少社会を目前に控え、国では、国民生活を支える基盤となる年金、医療などの社会保障制度について、時代にふさわしいあり方を構築するため、様々な検討が行われているところでございます。</p> <p>このような中、本日は、「健康うつのみや21」が議題となっております。</p> <p>この計画は、「自分の健康は自分で守り、自分でつくる」を基本に市民一人ひとりが主体的に取り組む健康づくり活動を地域・行政・学校・職場などが一体となって支援していくための諸活動の指針として策定いたしました。</p>

<p>4 議 事</p> <p>(1) ①「健康うつのみや21」の取組状況について</p>	<p>保健所総務課 課長補佐</p>	<p>議事が円滑に進められますよう、皆様にご協力をお願い申し上げます、簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、会長にこれ以降の議事の進行をお願いいたします。宜しくをお願いいたします。五味渕会長よろしくをお願いいたします。</p>
	<p>会 長</p>	<p>それでは、議事に入らせていただきます。本日は報告案件が2件あります。お手元の会議次第、第4(1)①「健康うつのみや21の取組状況について」を議題といたします。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします</p>
	<p>健康増進課長補佐</p>	<p>—資料1, 2, 3に基づいて説明—</p>
	<p>会 長</p>	<p>ただいま、色々説明がありましたけれども、何かご質問、ご意見等があれば、述べていただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
	<p>山本委員</p>	<p>資料3を見せていただいたのですが、健康うつのみや21の冊子と比べて、数値が変わってきていると思います。こちらの19ページに平均寿命が載っています。新しくいただいた参考資料の2ページにも平均寿命が載っています。新しい方は、平成12年の資料ですが、こちらの冊子では、1995年、つまり平成7年となっております。宇都宮市の平均寿命がよくなっています。せっかくよくなっているのに、古い資料を載せておらずに、新しい資料に差し換えて、これを見た市民ががっかりしないようにした方がよろしんじゃないかと思いました。</p> <p>それともう一点、健康づくり推進員のことで、37の連合自治会の区域に、これからも立ち上げていこうかという計画なんです。最後に説明いただいた資料によりますと、健康講座、歩け歩けとか、この内容をみますと、健康づくりの推進組織ができていない地域でも、現実にはこの内容はやっていると思います。私の地元は、錦地区ですが、錦地区は現在、組織が立ち上がっていないのですが、これらの内容のことは、コミュセンの市民講座みたいなものでもやっておりますので、健康づくり推進組織ができていても、できていなくても、あまり、活動内容は変わらないんじゃないかと思いました。この辺をどのようにお考えですか。</p>
	<p>会長</p>	<p>事務局、いかがでしょうか。</p>

健康増進課長		<p>まず、1番目の方の、平均寿命の表記ですが、来年度、健康うつのみや21の中間評価を行います。数値的には、厚生統計が遅れるものですから、なかなか訂正できないのですが、訂正できるものは訂正していきたいと考えております。併せて、市民広報用につきましては、来年度、できればその中で、冊子としては、公表していきたいと考えております。</p> <p>それから、健康づくりの組織でございますが、市としては、健康づくりの知識をもった方が地区で中心となって活動していただきたいと考えておりまして、先ほどの説明にもあったかと思いますが、健康づくり推進員と食生活改善推進員には、養成講座という9日間の講座があり、その講座を受講し、卒業した方々が中心になって、地域で組織をつくっていただきたいと思っております。</p>
山本委員		<p>そうしますと、581名の方が、今、できあがっている組織以外にも、市内全域にいらっしゃるからということになりますね。改めて、講義を受けてもらうということをしなくても、設立できる可能性があるということですね。</p>
健康増進課長		<p>なかなか、卒業生でも、地域の中でグループになって、活動していただく方が、それほどいないものですから、できればそういう方たちをつくってですね、その人達が集まって、地域の中で活動できるように、支援していきたいと考えておりますので、レベル的な問題もあるかもしれませんが、それは養成講座を卒業していただいて、グループ化していただいて、地域で活動していただきたいということが、こちらからの考え方です。</p>
会長		<p>よろしいですか。</p>
山本委員		<p>はい。</p>
会長		<p>他にございますでしょうか。</p>
田嶋委員		<p>たばこの問題で、質問したいのですが、だんだん年齢が若くなってきていると思います。現在、市内の学校では、どのように対応しているのか、また、その対応が強く指導ができないということも聞いておりますので、どのような対応をしているのか。</p>
学校教育課長		<p>子どもたちへのたばこの喫煙指導でございますが、子どもたちが、たばこを吸うことによって健康を害するということが、これは市民の健康づくりのうえでもよくないということ、市内各中学校の全教職員が、そのような認識をもっております。そういった中で、</p>

		<p>喫煙に対する健康被害につきましては、保健体育の授業、学級活動の授業などで、計画的継続的に指導しているところでございます。</p> <p>田嶋委員      厳しい対応も必要でなかろうかと思うのですが、公立ではむずかしいかもしれないのですが、地域や色々な問題があるからできないんだけど、そのようなことを、どのようにお考えか。</p> <p>学校教育課長      学校の中で、仮に喫煙をしている生徒等がいた場合には、当然、教師としましては、やってはいけないという厳しい指導をしながら、子ども達への指導を徹底しているところでございます。      義務教育の場合は、停学ということがございませんので、できるだけ、子ども達へ厳しく指導する中で、改善させていくということで、極力やっていくと思っているところでございます。</p> <p>会長      他にございませんか。</p> <p>添田委員      取組状況の中で、関係します「栄養・食生活」ですが、朝食を欠食するご説明をいただきました。その中で、城山地区が重点地区だということですが、全体的に大変、よい傾向ということは、これらの実績でも分かりますが、重点地区の城山地区の内容をちょっとお伺いしたいと思います。</p> <p>それから、もう一点、自殺者の増加というところで、これからの重点取組ということをご説明いただきましたが、この内容によると、難しい色々な課題が含まれたものだろうと思っておりますけれど、聞くところによると、全国的に働く人達も一番長く働いていたり、それに比べて、やはり交通事故以上に自殺者が多いということを知ると、私どもの健康プランの中で、大変難しいけれど、ここのところは大事なというような、そういうことも考えられますが、この4回の会議を開催していただくということもございまして、その方向づけも含めながら、この会議の全体像を、この審議会で知らせられるところは、知らせていただければという気持ちで、ご説明いただけるとありがたいと思っております。</p> <p>会長      よろしく申し上げます。</p> <p>健康増進課長補佐      地域参画塾の実施ということで、説明が不十分で申し訳ございませんでした。平成16年度は城山地区市民センターを会場にして、行ったということで、重点地区ということだけでなく、おそらく、市内を順番で実施していくという、男女共同参画課で行っている事業でございまして。</p>
--	--	---

保健予防課保健対策係長	<p>自殺についての、今後の取組についてですが、これにつきましては、先日、自殺の予防・こころの健康づくり連絡会議を開催しまして、こういった内容に関係する機関の方にお集まりいただきまして、連絡会議をもって、現在の自殺の状況、社会的背景、いろいろな問題を検討するなかで、今後、自殺の予防・こころの健康づくり対策会議ということで、先ほど報告がありましたように、2月から10月までに4回会議をもつということで、計画しております。</p> <p>その内容につきましては、自殺に関する現状の把握から、自殺の問題の抽出、対策上の課題の抽出、それから他の都市の事例の研究を踏まえまして、本市の対策としまして、予防的対策、相談体制、危機管理の受皿の問題、ネットワーク化、緊急対策、今後着実に対策するというので、検討していく予定になっております。</p> <p>この内容につきましては、この場におきまして、報告させていただきます。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p>
田嶋委員	<p>3ページの②ですか、市民のウォーキングの状況がでておりますけれども、民間の例えば、アスレチッククラブで運動している人達の資料も、この中に入っているのでしょうか。というのは、各民間施設で運動をしている人がいます。そういう方々の数値も入っているのかどうか、お尋ねしたいと思います。</p>
健康増進課健康づくり推進係長	<p>こちらの歩数につきましては、毎年、国の調査の一環としまして、実施する国民栄養調査の中で、市民の方を抽出しまして、その方のデータとして取りまとめているものでございます。ですから、そのアスレチッククラブの方の部分を抽出したということではなくて、ある程度、一定の方を抽出した市民での歩数という形で整理しています。</p>
会長	<p>よろしいですか。他には何かございませんか。 はい、どうぞ。</p>
井沢委員	<p>資料2の中の、地域における健康づくり実践活動の趣旨の中に、健康づくり推進員のことが載っていますけれども、地域の各団体と連携しながらという点なんです、各自治会との連携がうまくとれているのかどうか。下の表にも秋まつり協力とかありますけれども、自治会は秋まつりのイベントを仕込むのに、何を行ったらいいか、行き詰まったり、悩んだりしているのをちょっと耳にしています。秋まつりに関し、健康体操等で、指導できる健康づくり推進員たちが、おいでいただいて、座ってできる、こういう高齢者向け</p>

<p>(1) ②「すこやか親子うつのみや21」の取組状況について</p>	<p>会長</p>	<p>のストレッチがあるとか、楽しくやれるような指導っていいですかね、そういう連携がとれているのか、あるいはどこに話をもっていけば、そういう人たちが自治会のお祭りにきてもらえるのか、そういうことを自治会の人たちは知っているのかなど、色々と教えていただければ思いまして。</p>
	<p>健康増進課健康づくり推進係長</p>	<p>では、よろしく申し上げます</p> <p>健康づくり推進員・食生活改善推進員につきましては、それぞれの地域の中で、活動しているところでございます。</p> <p>活動にあたりましては、組織化して間もないところでもあり、自治会や各団体等との連携は不十分なところもあります。活動がある程度できてきて、自治会なり他の団体と、こういった地区まつりとか、地域でも様々なイベントがございますので、その中で、活動ができはじめているところでございます。</p> <p>また、この推進員につきましては、私どもの保健所健康増進課、あと、それぞれの地域の保健師が4か所に、配置されていますので、その地域の保健師が入っている地区センターにご相談をいただければ、推進員の情報は提供できるかと思っておりますので、どうぞ、ご気軽にご相談いただければと思います。</p>
	<p>会長</p>	<p>よろしいですか。他には何かございますか。</p> <p>それでは、他にありませんので、質問もこの辺で終わりにしたいと思います。</p> <p>健康うつのみや21につきましては、全市をあげて取り組む計画をしているため、ご承知していただければと思います。</p>
	<p>会長</p>	<p>それでは、次に②のすこやか親子うつのみや21の取組状況につきまして、これを議題としたいと思います。</p> <p>事務局より、説明をお願いします。</p>
	<p>健康増進課長補佐</p>	<p>説明の前に、先ほどの拠点4か所ですが、姿川地区市民センター、富屋地区市民センター、平石地区市民センター、本庁総合相談でございます。</p> <p>—資料4, 5に基づいて説明—</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの説明がございましたけれども、何かご質問ご意見等がありましたらいかがでしょうか。</p>	



<p>田嶋委員</p> <p>健康増進課健康づくり推進係長</p> <p>会長</p> <p>今井（キ）委員</p> <p>会長</p> <p>学校教育課長</p> <p>会長 小川委員</p>	<p>夜間保育の問題で、これは将来増やしていく方向はあるのでしょうか。</p> <p>その次は、7番のですね、5歳児発達相談がモデル事業として、保育園、幼稚園で10園実施予定ですが、今後の展開は。</p> <p>夜間保育につきましては、児童福祉課が窓口で進めているところで、現在1つの園で実施しているところがございます。今後、子どもの状況等をみながら、保育実態を併せた形での事業の拡大を検討していくものだと思います。</p> <p>また、5歳児発達相談ですが、今年度、保育園・私立の保育園・幼稚園を含めて、10園で実施したところがございます。心理相談員を各保育園・幼稚園に配置しまして、保育園などで気なるお子さんの状況を見ながら、その後の対応を保育園の先生ともども、事後指導してきたところがございます。こちらにつきましては、ただいま、10園ということで、全て終わっていないところがございますので、事業を実施したあと、各先生にお集まりいただいて、今後の取組とかのご理解をいただきながら、来年度の事業につなげていきたいと考えております。</p> <p>よろしいでしょうか。他になにかありませんか。</p> <p>ただいま、子育てサークルの支援などの説明をいただきましたが、ちょうど中間になります小・中学生の層では、文部科学省でも力を入れております、青少年の居場所づくりがあります。宇都宮市におきましても、民間ではかなり青少年のために各事業を行っていますが、行政ではどのような取組を考えているのか、お伺いしたいと思います。</p> <p>では、事務局いかがでしょう。</p> <p>青少年の居場所づくりにつきましては、生涯学習課が所管としてやっているものがございますが、学校教育以外のところで、そういった居場所をつくるということは、子どもたちの健全育成の中で非常に重要ということで、引き続き推進をしていくスタンスで理解しているところがございます。具体的なことを申し上げられなくて、大変恐縮です。</p> <p>よろしいですか。他にはいかがですか。</p> <p>妊産婦の健康診査の異常なしの割合が、少しずつ改善傾向にはあるものの、数値的に7割に満たないというのは、とても重要なことではなかろうかと考えています。どういう原因で、どういう異常が</p>
---	---

	<p>健康増進課長補佐</p> <p>小川委員</p> <p>会長</p> <p>添田委員</p>	<p>あるのかということに対して、それらの資料がありましたら、今日でなくて結構ですので、資料の提供をお願いしたいのですが。</p> <p>妊婦一般健康診査は、方法としましては、妊娠中2回使える受診券ですが、内容としましては、一般的に妊娠しますと生理的に貧血が伴いまして、圧倒的に貧血が異常ありの中で多いです。内訳ですが、貧血が52.9%、切迫早産10.1%、つわりが18.3%、切迫流産が14.5%、むくみが12.3%、その中で一番妊娠中に問題となります妊娠中毒症、血圧があがったり、むくみがでたり、それが8.5%ということです。</p> <p>しかし、圧倒的に貧血が多いということで、これは妊娠中と併せて、食生活のバランスがよくないということから、きていることが多いです。</p> <p>これからは、こういうところに力を入れていくような対策が必要だと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>やはり、妊娠中から、生まれてきて、それから子育てというふうになるという訳で、やはり健全な妊娠をされていないと、どうしても異常な出産とか生まれた子に対して、健全な育児ができないというようになるかと思えます。やはり健全な子どもを育てるといふ、宇都宮市として育てるといふ、健全なる妊娠っていうか、健全なる妊娠期間中って大切なことだと思いますので、その辺のご指導がよくしていただけたらと思えます。</p> <p>いいですか。他にはありますか。</p> <p>4ページの、青少年期の思春期問題の関係です。推移として、大変いい方向に進んでいるということを確認しながらですが、学校教育の現場でのご努力というところが、大きくこのような数字がいただけたのかなと思えます。それと、保護者と言われるその大人達が、家庭の中も含めて、性の問題はタブーというような、そういう風潮が、まだ正直、存在しているというのが、現状だと思います。学校において、10代の取組を私どもが心配するとすれば、それぞれの分野の中で、重要な取組が必要になると思えます。そういう意味で先ほどご発言があったように、ほんとうに、ここで出されているいくつかの課題は、庁内全体で取り組んでいかななくてはならないことと思えます。くどくなって申し訳ございません。まとめになりますけれども、色々な事を思いながら、学校の中では保護者というような形での、子どもと一緒にこのようなものを学んでいくとか、そういうものが今日とられているのか、どんなふうな形なのかなと</p>
--	---	---

	<p>学校教育課長</p> <p>会長</p> <p>副会長</p> <p>学校教育課長</p> <p>保健予防課長補佐</p>	<p>ということが心配です。全庁的な取組も含めた家庭内の子どもへの対応を、このプランの中でご説明をいただければと思います。</p> <p>それでは、まず学校での取組でございますが、現在、性教育サポート事業ということで、全中学校特に3年生を対象に、事業展開しています。この中で、産婦人科医師のご協力を得ながら、講話を実施したところでございます。その講話には、保護者を呼びかけしまして、子どもを保護者が一緒に聞くというような形で実施しているところでございます。</p> <p>よろしいですね。そろそろでつくしたんですが、他にありませんね。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>大変話題には、しにくいテーマではございますけれども、資料4の4ページの下のほうにございます、性と健康に関する正しい知識や情報を提供する健康教育、その上には、エイズや性感染症の問題が記載されています。以前、こういう問題について、ぜひご父兄、お母さん方にお集まりいただきたいと声をかけたところ、全く集まっていただけなかったという新聞がでておりました。私は、昭和60年から平成7年まで、作新学院高等部のPTA会長をやっておりました。その時に、ホソダサイチっていう大変な優秀なお医者さんにお会いをしました。こうお願いしました。健康教育でお願いしたんですが、ホソダ先生はエイズのお話をしました。大変、私はその時は違和感を覚えたのですが、なるほど、やはりホソダ先生は、そういう意図があって、お話をなさったんだなと感じております。今学校教育の中でも、色々な形で、どんな形で取り組んでいらっしゃるのか、保健行政等ともども、その辺お聞かせいただければと思いますが。</p> <p>性教育関係でございますが、これにつきましては、特に、性感染症につきましては、保護者の方の感覚といいますか、いろいろ多様でございます。そういった中で、一つは児童生徒に対して、人間の尊重でありますとか、あるいは男女平等の精神、こういったものの徹底を図る中で、性感染の問題を具体的なことで取り上げまして、子ども達が適切に判断できるような具体的な指導事例を集めまして、その啓発を行っているという状況でございます。</p> <p>エイズの教育につきまして、先生がおっしゃるように、わが国においてはエイズの言葉を聞いただけでも拒絶反応を起こす方もいらっしゃるわけですが。宇都宮市が平成8年に保健所を設置して、そ</p>
--	--	---

	<p>会長</p>	<p>れ以降、いろんな形で、子ども達を対象にした健康教育を行っております。エイズという部分の教育ですが、今、ちょうど12月1日が世界エイズデーになっておりまして、この時期を中心としたエイズキャンペーンを実施しているところです。昨年度は中学校・大学・専門学校、全部で30校ですが、そちらの学校に出向きまして、講話等をさせていただきました。また、JRの駅でキャンペーンをいたしまして、啓発物品を学生相手に配布したり、それからパネルとかで呼びかけもしまして、できるだけ、エイズというものを若い世代、それから家庭の方にも気軽に話ができるような、そんなような雰囲気になればいいなど、しかけはしているところでございます。今年も、そういったことでやっていきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これで質問も終わりだと思うんですけども、以上です。すこやか親子うつのみや21につきましても、今後も全市をあげて取り組んでいく計画をしていくことをご承知いただければと思います。</p>
--	-----------	--